

# もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

## 本号内容

1. 県民ハイキング報告
2. 中国高校登山大会報告
3. 全員協議会報告
4. 平山ユージ講演会報告
5. 登山教室報告
6. 岳連短信

する今日の山行でした。



### 1. 県民ハイキング報告

期日：10月21日(日)鈴が峰～柚木城山

担当：広島やまびこ会

参加者：一般 14・担当団体 19・会員 15・計 48 人

概要：9:00 新井口駅集合～西部埋立第 4 公園～鈴が峰  
～鬼ヶ城山～柚木城山～己斐峠・解散 16:00

『県民ハイキングに参加して』

(広島やまびこ会 吉川 智重子)

今年は豪雨災害や台風で多数の県民ハイキングが中止になった中、これ以上無いという秋晴れ！逆にうちわが欲しいくらいの暑さでした。

まずは鈴ヶ峰東峰を通り立ち寄った道行地藏尊では、何かの式典が行われており、トイレ休憩の傍ら有難い説法を聴く。

鬼ヶ城山頂だけでは場所が足りず、八畳岩付近でも昼食を食べる。ゆったりと 1 時間休憩できたので、一般の人とも色々話ができる。

心臓破りの階段を越え柚木城山へ。紅葉はまだ観れなかったけど、ままこなの群生に出会ったりしながら帰路に。岳連豊田さんが「歴史がないので苦しまぎれに…」と言われながらも、各場所で色んな話をして下さる。1 人のリタイヤも無く、無事終わられてほっと

### 2. 中国高校登山大会報告

(高体連 内藤 弘泰)

平成 30 年 10/26(金)から 10/28(日)にかけて、鳥取県若桜町の氷ノ山一帯において、第 58 回中国高等学校登山大会が行われた。

初日は、若桜町立第 1 体育館にて開会式の後、起床や救急といったテスト、さらに設営や炊事の審査が行われた。就寝後未明に降雨があったが、2 日目の朝には雨が上がり、問題なく登山行動を行うことができた。頂上周辺は霧のため天望はなかったが、登山口周辺の紅葉は素晴らしく氷ノ山の自然を堪能することができた。2 日目の夜には体育館で交歓会も行われて、選手達は交流を深めることができた。

3 日目には、氷ノ山自然ふれあい館の館長である高橋宏様よりご講演をいただき、さらに氷ノ山の四季折々の自然の美しさや厳しさを学ぶことができた。円滑な大会運営を行ってくださった鳥取県のスタッフに感謝の意を表したい。

大会の結果は、男子では**修道高校**が 98.6 点、女子では**ノートルダム清心高校**が 98.2 点を得点し、**広島県**が男女ともに**優勝**を果たした。修道は 2 年連続 14 度目の優勝、ノートルダム清心は 11 年ぶりの優勝という快挙であった。

その他の広島県勢の成績は、男子では広島学院高校が 7 位入賞、基町高校が 11 位、安古市高校が 18 位、五日市高校が 19 位、賀茂高校が 23 位であった。また女子では、基町高校が 3 位入賞、五日市高校が 9 位であった。

中国地方には、山口県をはじめ登山競技の強豪が多数ある。今後も切磋琢磨することで登山技術を磨き、生徒達の成長の一助になりたいと感じている。



### 3. 全員協議会報告

(事務局 西部 伸也)

10 月 31 日(水)、広島市西区民文化センターにて今年度の全員協議会が開催され、16 の加盟団体ならびに個人会員から 21 名の出席がありました。昨年の名称変更のような大きな議題はなかったとも言えますが、会長挨拶に続いて、今年度の半分を振り返っての**各部(事務局・指導部・普及部・競技部・国際部・高体連部・県東部)**の報告、岡谷副会長からの**長期プロジェクト進捗状況**の報告があり、今年の**比婆山国際スカイラン大会 DVD(短縮版)**の視聴もありました。そして最後には**出席者全員の自己紹介・近況報告・意見陳述**もありました。

各部では順調に活動がなされ、長期プロジェクトの今後の方針がかなり具体化してきたと感じられまし

た。また最後の全員の発言は連盟と会員とがつながるよい機会でした。



### 4. 平山ユージ講演会報告

(事務局 西部 伸也)

11/4(日)、広島市西区民文化センターにて開催された広島県山岳・スポーツクライミング連盟主催の**山岳・スポーツクライミングセミナー『平山ユージ講演会』**が 60 名の参加者を得て成功裏に終了しました！

世界のトップクライマーとして活躍してきた平山ユージさんの、世界の岩場への「冒険」に多く時間を割いたお話は大変興味深いものでした。

また、選手を退いてからはクライミング関連の会社を立ち上げ、昨年からは日本山岳・スポーツクライミング協会の副会長にも就任して東京オリンピックに向けて尽力されていますが、オリンピック後のクライミングのあるべき姿を見据え、ジムのクライマーも積極的にアウトドアの岩場に出かけてほしいというお話も印象に残るものでした。

講演会終了後は、恒例の**第 2 部お楽しみ抽選会**が行われ、参加者全員が特別協賛・協賛各社より提供された景品を手にし、中には 2 回目となる人もいました。

そしてすべての行事が終了したのちは、会場近くの連盟事務所に立ち寄ってもらってサインをいただき、さらには事務所近くの横川食堂で 11 名の有志との懇親会も持たれ、より親交が深められました。



人数：6名（スタッフ含）

今回の2年生は剣山から三嶺を縦走しました。2日も天気にも恵まれ、秋空の中、楽しく歩けました。

（指導部 森本 寛）

『素敵な笹ベッド』（剣山～三嶺 テント泊縦走実践）

（登山教室2年 平山 綾乃）

天気予報は晴れ、風も微風。期待大の四国遠征。予報通りの素晴らしい天気めぐまれ、終始気持ちよく歩くことができました。剣山頂上付近から、翌日の最終ピークである三嶺もはっきりと確認でき、無事歩けますようにと気合をいれます。

美しい緑の二郎炭。きらきら輝くススキの穂。所々に残る紅葉の彩。それらと青空とのコントラストは何度も足が止まってしまいました。長い距離、重たい荷物も、この景色のご褒美は気持ちを上げてくれました。

白髪避難小屋でのテント泊は、驚くこととなりました。小屋は先客でいっぱい。笹のない場所もすでに設営されており、テントを張る場所がないなあとはいきや、笹の上にテントを張るとのこと。ほわほわして安定しないのでは？と疑問を持ちつつ設営。中で寝そべると、なんと素晴らしいクッション！マットなしで寝袋にイン。極上の寝心地でありました。

2日目は下山後利用するバスの時刻に遅れないように、4時に出発。ヘッドライトをつけての歩きは、かなり気をつかいました。自分のライトの明かりが少し弱く、後ろのメンバーのライトの明かりに助けられました。家に帰り、新品の電池に変えたところ明るさが全然違うことを知り、電池は充電式で常にフル充電して使用する方がいいのかなと思いました。

三嶺山頂手前の岩場で、日の出も堪能でき、バスの時刻にも間に合い、ほぼ予定通りに終えられた四国遠征、大満足でありました。（写真提供 久保田 征治）



## 5. 登山教室報告

第7回2年生 10/12(金)～14(日)

登山形態：テント泊山行 山城：剣山、三嶺

第 7 回 1 年生 10/27(土)～28(日)

登山形態：テント泊山行

山城：三段峡、恐羅漢山、十方山

人数：16 名 (スタッフ含)

今回の 1 年生はテント泊縦走の訓練で三段峡から恐羅漢の周回ルートに行ってきました。ベース型のテント泊ではないので装備を分担して全員で無事歩ききることができました。(指導部 森本 覚 写真も)



「感想文」

(登山教室 1 年生 小玉 靖視)

今回は十方山の方は登山道もしっかりしているの  
でその点では心配はしていませんでしたが、二日間の  
高低差のある長い距離を歩くのに少し不安がありま  
した。今までも登りが続くと足の筋肉を使い切り、つ  
いて行くのが大変な時もありましたので、今回も心配  
をしていました。今回登りの時、森本 CL から色々な  
方向の筋肉を使い分けて登る様に言われてそれを意  
識して、手、足、全身を使い登るようにしたので二日  
間の長い距離何とか足の筋肉がもったと思いますが、  
目一杯でした。

それと夜は寒いと思い、服は羽毛など用意したの  
ですが、頭の方は毛糸の帽子など用意してなくて首、耳  
などが寒かったです。やはりその時を経験しないと頭  
に浮かびませんね。

もう一点、今回は共同装備は体積が少なかったのに、  
ザックはある程度パンパンになっていました、これで冬  
の寝袋、冬用の衣類などが入ると、今まではザックに  
荷物を入れるのに、そんなに考えずに詰め込んでいま  
したが、次回のために何回か家でパッキングの練習を  
しなくてははいけませんね。

それと次回の山行にいけないので、1 か月前から始  
めたジョギングと腹筋、バランスなどの運動をして、  
みんなについて山行出来る様に、ガンバリます。

## 6. 岳連短信

### 1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 464 (11 月号)

福山山岳会『会報』H30. 11 月号

### 2. 豪雨災害関連

このたびの西日本豪雨災害で被災された本連盟関係  
者へのお見舞金カンパへのご協力ありがとうございます  
ました。皆様から寄せられたカンパは 10/16 に竹原山岳  
会の被災者の方へ届けました。

### 3. 11～12 月の行事案内

11/16 広島県登山部顧問等安全登山講習会

11/18 県民ハイキング第 26 回 包が浦～鷹巣山

11/18 県東部合同登山

11/23～24 岳連例会山行 中山仙境・犬ヶ岳

12/5 岳連例会山行 絵下山?

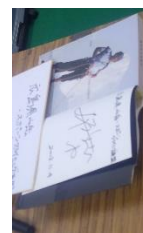
12/9 県民ハイキング第 27 回 クマン岳～古鷹山

## 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行して  
います。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気  
軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入  
下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。  
ご了承ください。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送  
下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方  
は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。



(平山ユージ氏サイン)